

実 技 試 験

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、2017年10月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例については考慮しないものとします。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 投資助言・代理業の登録をしていないFPが、顧客と投資顧問契約を締結し、当該契約に基づいて特定の上場株式の業績予想や投資判断について助言をした。
2. 生命保険募集人登録をしていないFPが、生命保険契約を検討している顧客のライフプランに基づき、必要保障額を具体的に試算した。
3. 税理士資格を有していないFPが、顧客から相続財産に係る相続税額の計算を依頼されたため、税理士と顧問契約を締結し、業務を委ねた。

問2

下記は、大垣家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の（ア）～（ウ）に入る数値とその求め方として、最も不適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果は万円未満を四捨五入すること。

＜大垣家のキャッシュフロー表＞

（単位：万円）

経過年数			基準年	1年	2年	3年
西暦（年）			2017	2018	2019	2020
家族・ 年齢	大垣 雅治	本人	31歳	32歳	33歳	34歳
	いずみ	妻	31歳	32歳	33歳	34歳
	桃香	長女	2歳	3歳	4歳	5歳
ライフイベント		変動率			自動車の 買替え	
収入	給与収入（夫）	1%	348			(ア)
	給与収入（妻）	1%				336
	収入合計	—		680		
支出	基本生活費	2%	218			
	住居費	—	153	153	153	153
	教育費	—	40	30	30	40
	保険料	—	42	42	42	42
	一時的支出	—			400	
	その他支出	—	30	30	30	30
	支出合計	—	483	477	882	496
年間収支				(イ)	▲194	
金融資産残高		1%		574	(ウ)	589

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のものとし、2017年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部を空欄としている。

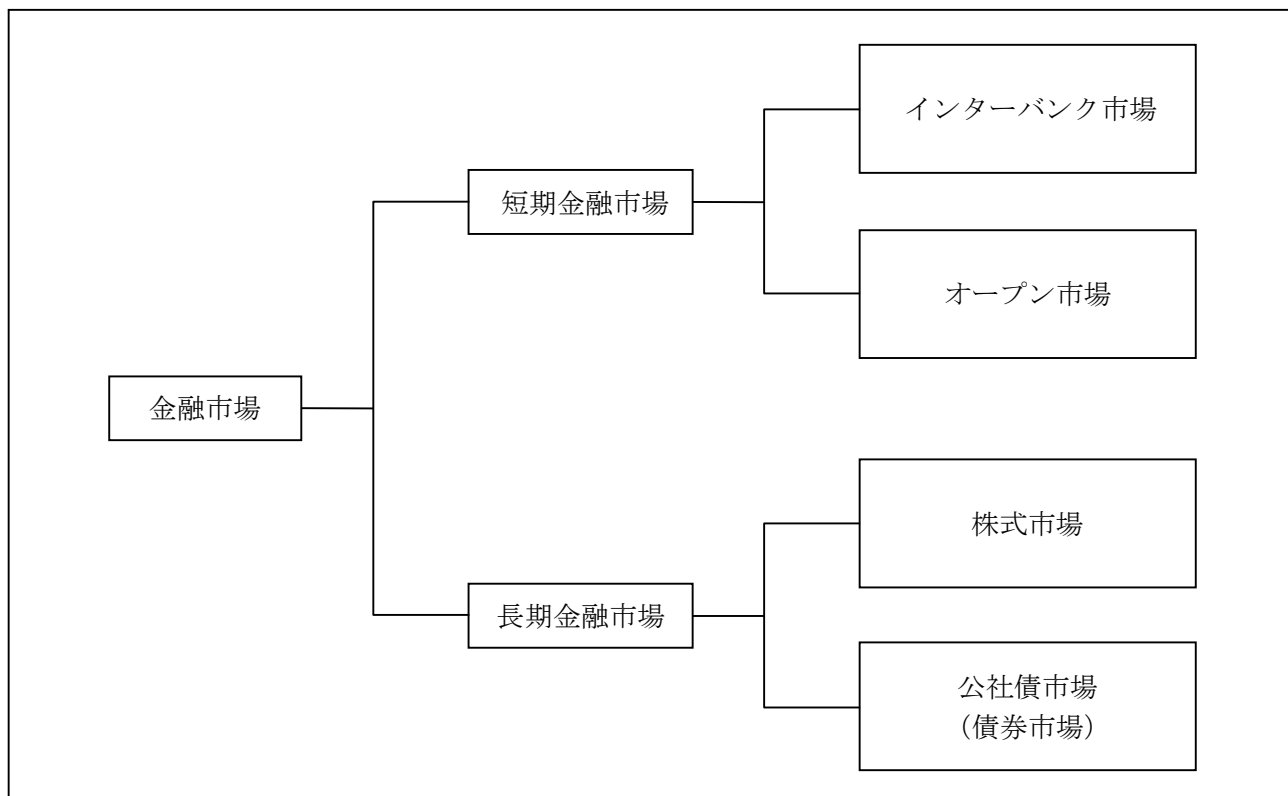
1. 空欄（ア）：「 $348 \times (1 + 0.01)^3 \div 359$ 」
2. 空欄（イ）：「 $680 - 477 = 203$ 」
3. 空欄（ウ）：「 $574 - 194 = 380$ 」

【第2問】下記の（問3）～（問6）について解答しなさい。

問3

下記＜資料＞は、金融市場の分類について示した図である。＜資料＞に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

＜資料＞



1. 短期金融市場と長期金融市場は、取引対象である金融商品の満期までの期間が3年以内か3年超かによって分類されている。
2. コール市場や手形市場は、インターバンク市場に分類される。
3. オープン市場は、一般の事業法人など金融機関以外でも参加できる市場である。

問4

下記<資料>に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

<資料>

東京第1部						4月16日 (月曜日)
銘柄	始値	高値	安値	終値	前日比	売買高
水産・農林						
・極洋	3755	3805	3740	3800	▲40	147
・日水	572	575	570	573	▲1	20207
・マルハニチロ	3565	3635	3555	3630	▲85	2205
・カネコ種	1667	1667	1618	1625	▲9	43
・サカタタネ	3950	4045	3920	4045	▲85	1689
・ホクト	2036	2045	2023	2043	▲9	482
・ホクリヨウ	1304	1310	1294	1296	▲21	164

株式欄の見方

【株価】円。ただし売買単位が1株(口)の銘柄は100円
 【売買高】100株。ただし売買単位が1株、10株、50株の銘柄は1株
 【前日比】▲高 ▲安 0は変わらず ーは商い出来ず、前日比なし
 (配当落ち) ◆高 ◆安 ◆0は前日比変わらず ◆ーは前日比なし。
 無配の場合も含む
 (新株落ち) 前日比較は新株落ち計算値比較。 □高 ■安 0は前日比変わらず 0ーは前日比なし。ライツ・イシューに伴う新株予約権、株式無償割当の権利落ちを含む
 (株式併合または減資) ♪高 ♪安 ♪0は前日比変わらず ♪ーは前日比なし。併合・減資の影響を考慮した実質ベースで比較
 加買い気配、刈売り気配、ケは名証の最終気配
 【売買単位】無印、a100株 B1株 C10株 D50株
 K、k1000株 (a、kは1000円以下で10銭、1000円超3000円以下で50銭刻み)
 ・貸借銘柄
 (注) 白抜き数字は年初来の最高値または最安値。ただし権利落ち日の週内は原則新値とせず、その後は権利落ち後の新高値・安値となる

(出所：日本経済新聞 2018年4月17日朝刊 19面、22面)

1. 「日水」の株式の売買単位は、1,000株単位である。
2. 「マルハニチロ」の4月16日の始値は、前営業日の終値に比べて85円高い。
3. 「ホクト」の4月16日に売買が成立した株式数は、48,200株である。

問5

下記<資料>に関する次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。

<資料>

年月【資本異動】	万株	【株式】%	400,878千株	【株主】	31,914名	<17.3>	万株	83	【増額】	一	【特色】	7731
84.11	無1:0.16	25,987	【株式】	日本マスター信託口	3,229	(8.0)	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
85.11	無1:0.13	29,948	【株式】	日本トラスティ信託口	2,434	(6.0)	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
86.11	無1:0.15	34,907	【株式】	明治安田生命保険	1,953	(4.8)	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
02. 3	交換	36,994	【株式】	日本トラスティ信託口	9		【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
04.12	交換	36,994	【株式】	三菱東京UFJ銀行	737	(1.8)	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
東証	高値	安値	【株式】	常陽銀行	680	(1.6)	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
49~15	4430(00)	43(50)	【株式】	日本生命保険	670	(1.6)	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
16	1906(2)	1305(6)	【株式】	ノーザン・トラスト(AVFC)キ	670	(1.6)	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
17.1~8	1948(7)	1517(4)	【株式】	ルターンGEF	670	(1.6)	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
17. 6	高値	安値	【株式】	日本トラスティ信託口	5		【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
7	1867	1706	【株式】	東京海上日動火災	604	(1.5)	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【特色】	【株】
7	1948	1751	【株式】	<外国>	32.9%	<浮動株>	5.3%	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
#8	1939	1791	【株式】	<投信>	8.6%	<特定株>	32.1%	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
【四半期進捗率】	3期平均	16.0%	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
【格付】	【格付】	【格付】	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
【業種】	民生用エレクトロニクス	【業種】	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
【比較会社】	7751 キヤノン,	【比較会社】	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
4901 富士HD, 6758 ソニー	【業種】	【業種】	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
【業績】(百万円)	売上高	営業利益	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
連15. 3	857,782	43,412	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
連16. 3	822,915	36,701	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
連17. 3	748,891	50,979	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
◇18. 3	703,000	51,000	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
◇19. 3	710,000	53,000	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
中16. 9	343,779	23,335	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
中17. 9	331,000	17,000	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
四16. 4- 6	169,352	14,931	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
四17. 4- 6	170,324	12,419	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】
会18. 3	700,000	45,000	【株式】	【役員】	【役員】	【役員】	【役員】	【株主】	【増額】	【特色】	【特色】	【株】

(出所：東洋経済新報社「会社四季報」2017年第4集)

・ この企業の株を1単元（1単位）保有していた場合、2017年3月期における年間の配当金額（税引前）は（ア）円であったことが分かる。

・ 2017年3月期における1株当たりの利益は（イ）円であったことが分かる。

1. (ア) 1,600 (イ) 16
2. (ア) 1,600 (イ) ▲17.9
3. (ア) 16 (イ) ▲17.9

問6

下記<資料>の上場不動産投資信託（J-REIT）に関する次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値または語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、空欄（ア）の解答に当たっては、小数点以下第3位を四捨五入すること。

<資料>

	KX不動産投資法人	KY不動産投資法人
REIT価格	203,000円	332,000円
1口当たり純資産	236,000円	287,000円
1口当たり分配金（年間予想）	8,000円	9,000円

- ・ KX不動産投資法人の分配金の予想利回りは、（ア）%である。
- ・ 1口当たり純資産を用いて、KX不動産投資法人とKY不動産投資法人のREIT価格を比較した場合、より割安であると考えられるのは、（イ）不動産投資法人である。

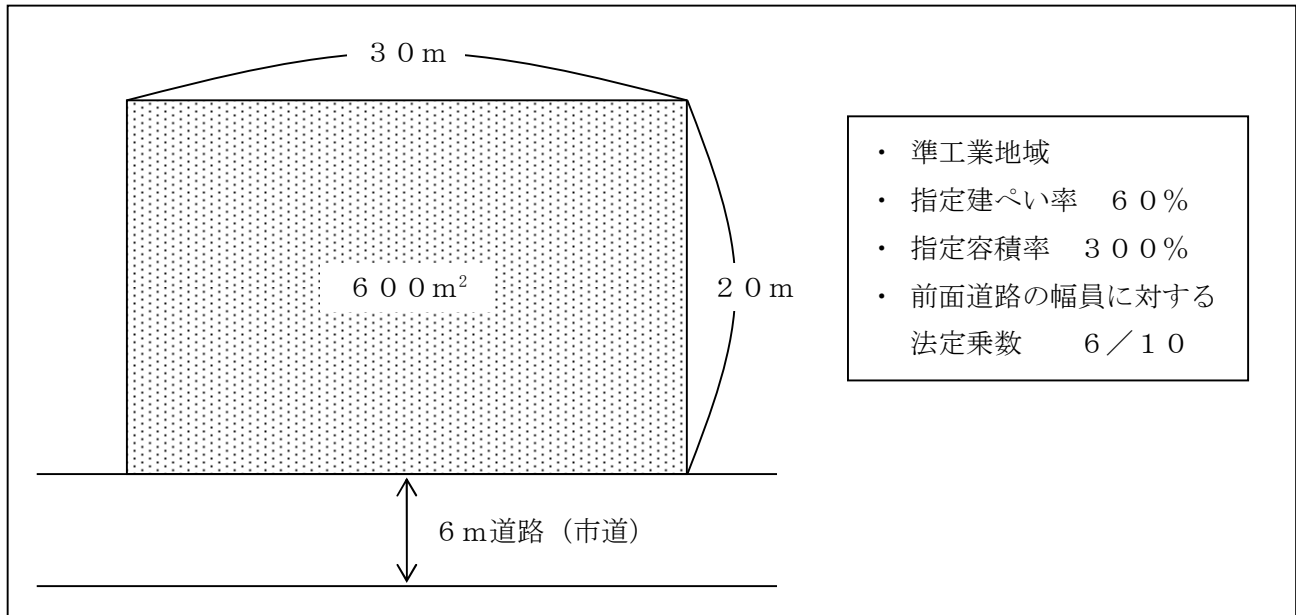
1. （ア）3.39 （イ）KY
2. （ア）3.39 （イ）KX
3. （ア）3.94 （イ）KX

【第3問】下記の（問7）、（問8）について解答しなさい。

問7

建築基準法に従い、下記<資料>の土地に建築物を建築する場合、この土地に対する建築物の建築面積の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料>



1. $600 \times 0.6 \times 6 / 10 = 216$ (m²)
2. $600 \times 0.6 = 360$ (m²)
3. $600 \times 3.0 = 1,800$ (m²)

問8

建築基準法の用途制限に従い、第一種低層住居専用地域内の土地に建築物を建築する場合、建築可能なものとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

1. ホテル
2. カラオケボックス
3. 診療所

【第4問】下記の（問9）、（問10）について解答しなさい。

問9

小坂健一さんが加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、健一さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号 ○○△△××□□	定期保険特約付終身保険		
保険契約者 小坂 健一 様	保険契約者印 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 小坂 </div>	◇契約日（保険期間の始期） 2015年11月2日	
被保険者 小坂 健一 様 契約年齢 33歳 1982年4月20日生 男性	◇主契約の保険期間 終身		◇主契約の保険料払込期間 60歳払込満了
受取人 （死亡保険金） 小坂 紀子 様（妻）			
◆ご契約内容		◆お払い込みいただく合計保険料	
終身保険金額（主契約保険金額） 300万円 定期保険特約保険金額 1,000万円 特定疾病保障定期保険特約保険金額 300万円 傷害特約保険金額 100万円 災害入院特約 [本人・妻型] 入院1日目から 日額5,000円 疾病入院特約 [本人・妻型] 入院1日目から 日額5,000円 不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて手術給付金（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）を支払います。 ※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。 成人病入院特約 入院1日目から 日額5,000円 リビング・ニーズ特約		毎回 ××,×××円/月 [保険料払込方法（回数）] 団体月払い	
		◇社員配当金支払方法 利息をつけて積立て ◇特約の払込期間および保険期間 10年	

小坂健一さんが、2018年中に脳卒中で死亡（急死）した場合に支払われる死亡保険金は、合計（ア）である。

1. 1,300万円
2. 1,600万円
3. 1,700万円

問10

個人賠償責任保険の補償の対象となるものとして、最も不適切なものはどれか。

1. 会社の業務で、書類を金融機関に届けるため自転車で走行中に、誤って歩行者と接触し、ケガをさせてしまった。
2. 友人たちとゴルフをプレー中に、誤ってゴルフボールを他のプレイヤーに当て、ケガをさせてしまった。
3. デパートで買い物中に、陳列されている商品を誤って落とし、壊してしまった。

【第5問】下記の（問11）、（問12）について解答しなさい。

問11

馬場淳司さんは、相続により8年前に取得し、現在居住している自宅の土地および建物を譲渡する予定である。譲渡に係る状況が下記<資料>のとおりである場合、所得税における課税長期譲渡所得の金額として、正しいものはどれか。なお、<資料>に記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料>

- ・ 取得費（合計）：800万円
 - ・ 譲渡価額（合計）：5,000万円
 - ・ 譲渡費用（合計）：150万円
- ※居住用財産を譲渡した場合の3,000万円特別控除の特例の適用を受けるものとする。
※所得控除は考慮しないものとする。

1. 4,050万円
2. 1,200万円
3. 1,050万円

問12

三上さんは、2018年1月に新築のマンションを取得し、新たに不動産賃貸業を開始した。取得したマンションの建物部分の情報は下記<資料>のとおりである。三上さんの2018年分の所得税における不動産所得の金額の計算上、必要経費に算入する減価償却費の金額（計算式を含む）として、正しいものはどれか。

<資料>

取得価額：35,000,000円
取得年月：2018年1月
耐用年数：47年
業務供用月数：12ヵ月

<耐用年数表（抜粋）>

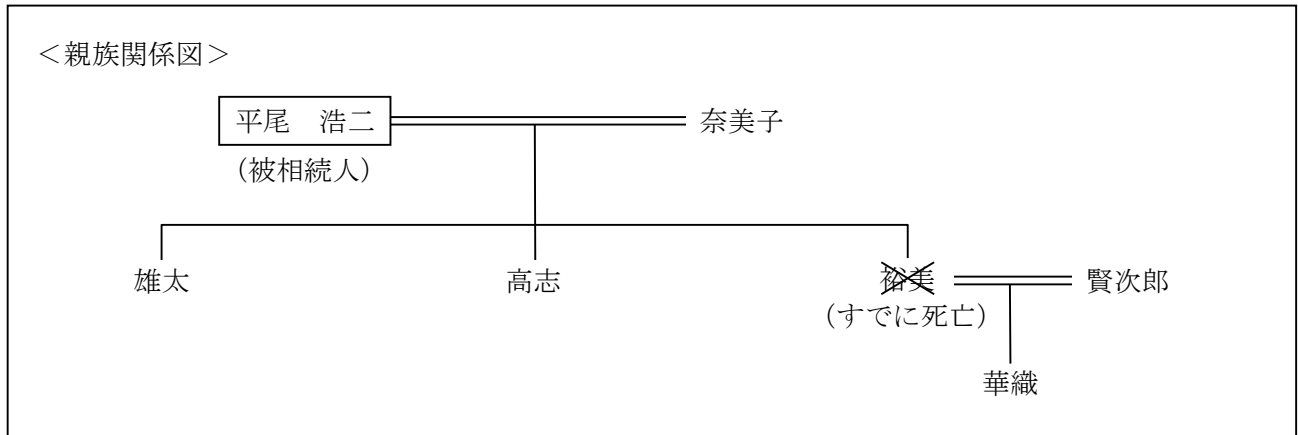
耐用年数	定額法の償却率	定率法の償却率
47年	0.022	0.043

1. $35,000,000円 \times 0.9 \times 0.022 = 693,000円$
2. $35,000,000円 \times 0.022 = 770,000円$
3. $35,000,000円 \times 0.043 = 1,505,000円$

【第6問】下記の（問13）～（問15）について解答しなさい。

問13

2018年5月2日に相続が開始された平尾浩二さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



1. 奈美子 2/3 雄太 1/6 高志 1/6
2. 奈美子 1/2 雄太 1/6 高志 1/6 華織 1/6
3. 奈美子 1/2 雄太 1/8 高志 1/8 賢次郎 1/8 華織 1/8

問14

成田友春さんは、家族のために遺言書を作成することを考えている。公正証書遺言に関する次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

公正証書遺言は、遺言者が遺言内容を口述し、（ア）が筆記したうえで、遺言者・証人に読み聞かせ、または閲覧させて作成することを原則としている。また、公正証書遺言の作成に当たっては、（イ）以上の証人の立会いが必要とされる。

1. （ア）公証人 （イ）2人
2. （ア）裁判官 （イ）2人
3. （ア）裁判官 （イ）1人

問 15

井上桂子さんは、夫から2018年5月に居住用不動産（財産評価額3,000万円）の贈与を受けた。桂子さんは、この居住用不動産の贈与について、贈与税の配偶者控除の適用を受けることを検討している。桂子さんが贈与税の配偶者控除の適用を最高限度額まで受けた場合の2018年分の贈与税の配偶者控除および基礎控除後の課税価格として、正しいものはどれか。なお、贈与税の配偶者控除の適用を受けるための要件はすべて満たしているものとする。また、桂子さんは2018年中に、当該贈与以外の贈与を受けていないものとする。

1. 890万円
2. 1,000万円
3. 1,890万円

【第7問】下記の（問16）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

西里利秋さんは株式会社T Aに勤務する会社員である。利秋さんは定年を4年後に控え、今後の生活設計について考えようと思い、FPで税理士でもある長谷川さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも2018年4月1日現在のものである。

[家族構成（同居家族）]

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
西里 利秋	本人	1961年6月10日	56歳	会社員
優子	妻	1965年5月5日	52歳	専業主婦
穂香	長女	1996年6月23日	21歳	大学4年生

[保有財産（時価）]

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	500
定期預金	1,700
財形年金貯蓄	300
個人向け国債	250
上場株式	480
生命保険（解約返戻金相当額）	310
不動産（自宅マンション）	2,500
その他（動産等）	250

[負債残高]

住宅ローン（自宅マンション）：250万円（債務者は利秋さん、団体信用生命保険付き）

[定年退職時]

退職一時金として、勤務先より2,200万円が支給される予定。

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

問 16

F P の長谷川さんは、西里家の 2018 年 4 月 1 日現在のバランスシートを作成した。下表の空欄 (ア) にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、<設例>に記載のあるデータに基づいて解答することとし、<設例>に記載のないデータについては一切考慮しないこととする。

<西里家のバランスシート>

(単位：万円)

[資産]		[負債]	
金融資産		住宅ローン	×××
普通預金	×××		
定期預金	×××		
財形年金貯蓄	×××	負債合計	×××
個人向け国債	×××		
上場株式	×××		
生命保険 (解約返戻金相当額)	×××	[純資産]	(ア)
不動産 (自宅マンション)	×××		
その他 (動産等)	×××		
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 5,480 (万円)
2. 5,730 (万円)
3. 6,040 (万円)

問 17

利秋さんは、60歳で定年を迎えた後、退職一時金の一部を老後の生活資金に充てることを考えている。仮に、退職一時金のうち1,500万円を年利2.0%で複利運用しながら20年間で均等に取り崩すこととした場合、毎年の生活資金に充てることができる金額として、正しいものはどれか。なお、下記<資料>の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、円単位で解答すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料：係数早見表 (年利2.0%)>

	現価係数	資本回収係数	減債基金係数
20年	0.6730	0.0612	0.0412

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 1,009,500円
2. 918,000円
3. 618,000円

問 18

利秋さんは、住宅ローンの繰上げ返済について、FPの長谷川さんに質問をした。住宅ローンの繰上げ返済に関する長谷川さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「返済期間を変えずに、毎月の返済額を減らす方法を『返済額軽減型』といいます。」
2. 「毎月の返済額を変えずに、返済期間を短縮する方法を『期間短縮型』といいます。」
3. 「最低返済額と繰上げ返済手数料は、金融機関を問わず一律となっています。」

問 19

利秋さんと優子さんが加入している生命保険は下記<資料>のとおりである。<資料>のうち、保険金受取人が死亡保険金を受け取った場合に所得税が課される契約として、正しいものはどれか。

<資料>

契約	保険契約者 (保険料負担者)	被保険者	死亡保険金 受取人	保険金額	保険期間
定期保険A	利秋	利秋	優子	2,000万円	60歳まで
養老保険B	利秋	優子	利秋	1,000万円	60歳まで
終身保険C	利秋	優子	穂香	800万円	終身

1. 定期保険A
2. 養老保険B
3. 終身保険C

問 20

利秋さんは、通常65歳から支給される老齢基礎年金を繰り上げて受給できることを知り、FPの長谷川さんに質問をした。老齢基礎年金の繰上げ受給に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、老齢基礎年金の受給要件は満たしているものとする。

1. 老齢基礎年金を繰上げ受給した場合の年金額は、繰上げ月数1月当たり0.7%の割合で減額される。
2. 老齢基礎年金を繰上げ受給した場合の年金額の減額は、一生涯続く。
3. 老齢基礎年金を60歳から繰上げ受給した場合、原則として老齢厚生年金も同時に繰上げ受給しなければならない。